

月刊！大阪でんきレター

仕事に少し関係のあることから、まったく関係のないことまであなたにお届けします



今月のトピック

- ◆ 社長のひと一言
- ◆ 土曜日の営業・休業案内
- ◆ 私の本棚（の一部）
- ◆ 私の小自慢・フ子自慢



社長のひと一言

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を目の当たりにして、私たち人類に警鐘が鳴らされているように思えてなりません。行き過ぎた資本主義で物質文明真つただ中、競争・競争の結果、自分さえ自分達さえよければという考えが個人、社会、国の価値観にまで世界中に溢れています。

ハッとさせられました。

「私たちは生かされている」



としらろ
山本 利太郎

この自然界に生かされているはずの人間界が、さも世の中をコントロールしているようなおごり。新型コロナウイルスが広がりビビっているのは人間界だけです。

動物たちは何くわぬ姿のまま、今日も草木は生い茂り、梅の花も綺麗な花を咲かせていますね。私たち人間は、自然界の中で生かされています。他者を思いやり、生きとし生けるものすべてが幸せになれる世界を考える機会を与えられているかも……。

これ（↓）は私がある方のコメントをコピーさせていただいたものです。

人間がコントロールできないものを世の中で使つてはいけない。これは九年前の福島第一原発での事故で痛いほど身に染みたはずでは？

当時とは全く違うかもしれませんが、今回いまだかつてないような経験を私たちはしています。それでも、私たち日本人は政府の方針に従いながら我慢して過こしています。ここでいう我慢とは、私は「希望を持つ技術」だと理解しています。

くしくも今年の三月十一日の追悼イベントですら自粛の中、宮城と福島では日中に虹がかかりました。なにか、人知を超えたものを感じます。

今の逆境も私たちの成長の糧にする機会にしていきましょう。必ず「希望」がやってきます。COVID-19に負けずに、元気に明るくいきましよう！

土曜日の営業・休業案内

- 3 / 28 (土) …… **完全休業** (第4土曜日はお休み)
- 4 / 4 (土) …… **AMお引き取りのみ**
- 4 / 11 (土) …… **AMお引き取りのみ**
- 4 / 18 (土) …… **完全休業** (決算棚卸のため)
- 4 / 25 (土) …… **完全休業** (第4土曜日は休み)



私の本棚 (の一部)

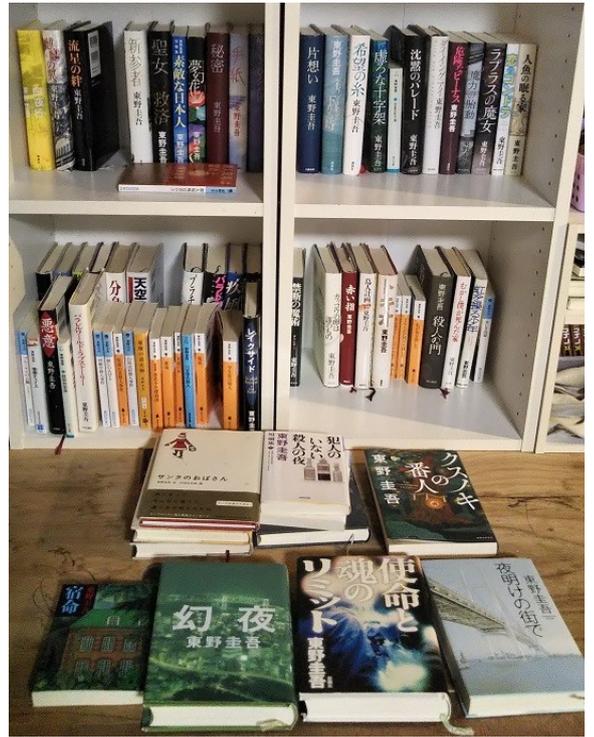
「最近のTVは面白くないな～」などとボヤきながらも、月曜日の有吉ゼミの食いには必ず見ている、もえあずよりもギャル曽根派、どうも金沢支店の原です。

さて、私がこのコーナーで本の紹介的なことをするときには、締切間近で、かつネタに困っているときです。そして今月ももれなく困ってますので、そういうことになりました。

以前もチラッと紹介しましたが、私が東野圭吾の小説に出会ったのが、昨年(2019年)の8月でした。それから私の読書の95%は東野圭吾作品になってしまいました(笑)。ビジネス書や自己啓発書などの小難しいのはほとんど読まなくなってしまいました。

基本的にミステリーなのですが、いろんなジャンルの小説を書くので、飽きずにとっても面白いです。私が好きな作品の一つ、「使命と魂のリミット」。お医者さんの話で、たしか殺人は起きないのですが、主人公と一緒に疑いながら、最後に主人公と一緒に謎が解ける。とくに、ラストのあるセリフにビビッときます。「え？」ってなります。それがとても気持ちがいいです。

もしあなたが東野ファンなら、あなたのNo.1を教えてください！



原 良

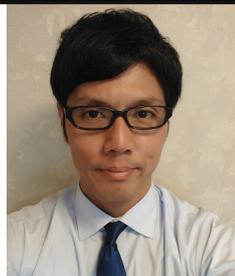
すべて東野圭吾の本です。私の中でNo.1の呼び声が高い「ナミヤ雑貨店の奇蹟」は北村さんに貸し出し中です。「クスノキの番人」は最新刊です！

「私の小自慢・フチ自慢」



新田 陽一

自宅がある小松市に航空自衛隊がある。騒音はあるが、Bインパルスは家から無料見学、小中とも教室にエアコンが入っていた。物は考え様。



福井 健太郎

小学校～高校まで皆勤賞でした。名前が健太郎だけにほとんど病氣と無縁でした。



原 良

小・中・高・大・草野球と野球をやっていたので、グラウンド整備には絶大な自信を持っている。特にライン引きは他の追隨を許さなかった☆



吉田 英喜

小松市自衛消防大会で優勝した事がある。今年、隊長になる事になりました。



北村 真斗

フチ自慢ですが、音域が3オクターブちょっとあります。(ただし上手く歌えるとは異なります)



加藤 敬

「CanonのLレンズ 小三元・旧大三元を持っている」

「月刊！大阪でんきレター」のご意見・ご感想を頂けると励みになります。

大阪電機商事(株) 金沢支店

金沢市示野中町2丁目100番地

TEL (076) 223-3541 FAX (076) 223-3932

hara@osakadenki.co.jp (担当：原)

